新聞月ぎめ一ヶ月80圓　定價一部賣(3圓)　休刊日曜

磐城日日新聞

昭和29年(1954)4月13日（火曜日）第1095号

発行所　磐城日日新聞社
福島縣磐城市渚廻五一ノ二
電話代表3387番
編集兼発行人　佐不二夫

綱領

◎紙面を廣く讀者の論說に解放し、社會の意志を擁護する
◎一旦掲載した問題に關しては如何なる反論をも拒まず、これを尊重する

磐城日日新聞社

磐城市長の椅子に 四者亂立の動き

革新派、上坂氏擁立か

磐城市初代市長選に革新候補の擁立に足並を揃えた磐城市社民クラブ（会長會田亮氏）並日本水素勞働組合（組合長坂倉祐氏）では十一日朝、彼ならばとその人柄、手腕を買われた前日本水素組合長上坂昇氏に対し坂倉組合長　菅原書記長らが電話で同氏に組合の强い支持と意向を傳え、是非決意のほどを望むと第一回交渉に当つたこの正式交渉を受けた上坂氏は、輸入候補では組織票が乱れはしないかと訴え、出來れば社民ク或いは水素勞組の現役から物色した方が賢命な策であるとの見解をとつたようである

しかし組合側としては上坂氏がどうあろうと今後積極的に同氏の出馬を敢く迄も打出したいと、かなり団結した働きを見せてをり噂される再度の志賀、立花の泥試合を憂慮して上坂出馬の決議を更に市内各労組團体に呼びかけ何とか擔ぎ出そうと努めている模様で近く同氏と会見、早急な意志表明を得ると語っているこの動きによつて今後の市長選は志賀、立花の對抗馬から上坂のダークホース、更には本命馬と呼稱する大井川ら四名乱立の様相を呼ぶのではないかと一部にはこうした觀測が持たれて来た

春季賃金斗爭に 水素勞組スト權立か

日本水素小名浜工場勞働組合（組合長坂倉祐氏）では十一日午前九時から組合會議室に坂倉、木村の正副組合長他本下、澁佐、増子の賃上斗爭配付部員を招集、來る十四日開催の組合大會の運營委員會をひらき、同日の大会

營などにつき種々協議したこれに先だち去る九日午後二時から組合会議室に第八回中央委員会を開催第一八五回經營協議会の内容説明後、重要議題の賃上げ斗爭方針の件を提出討議の結果、執行部原案通り可決、次の斗爭スケジュールを組んだ

▽四月十日……一齊職場▽同十二日……中央委員会▽十三日……一齊職場会議▽十四日……職場大会▽十五日……第一回擴斗團交▽十六、七日……スト投票▽廿四日……

交渉結果が期待されるが二十四時間スト予定（合化第二波）などの斗爭方針を確立、十四日午前九時より〝斗いの方針を大会で示そう〟のスローガンをかかげ執行部及統制部が組合員と一丸となり春季賃上斗爭の强力な態勢を敷えるための職場大会が開催されるが今年はかなり强い、団交が会社側に提出されるものとして注目され成行によつては波状ストも予測されている

米穀受配に特別區

ここにも殘る三部落編入

舊鹿島三部落は小名浜、湯本兩町が縣庁、議会までをまき込んでの政治合戰の揚句湯本町に編入となつたが、以來紛爭のたねを殘こし、學區制の問題、更に不在地問題と余燼をくすぶらせて来たが今度は米穀受配者二九世帶、一二九名が食糧管理法によつて磐城市内の米穀店から受配出來ず三部落内には米穀店がないため一山越えて鹿島坑賣店まで一里～二里を歩かなければならぬことになり、三部落消費者はすつかり音をあげてしまつたこの対策として常磐市長矢吹氏は磐城市に對し、鹿島三部落を特別區として從前通り磐城市内から受配出來るよう取扱い方を申し入れたが、磐城市長代理仲田佑一郎氏は協議の結果矢吹市長と連署の上知事宛鹿島三部落の米穀受配特別區取扱方を申請することになつたこれが認可されれば三部落消費者一二九名は從前通りの米穀受配が出來るようになる

常磐名産 みりん干

勿來美術館 盛大に開館

既報＝勿來町財団法人白鷺会勿來美術館の開館披露式は十一日午前十一時より新装なつた同館脇の庭園に於て縣会議員、町會議員、関係者約二百名を招待して盛大に擧行された設立經過報告、館長挨拶のあと工事施行者錦町金成土建KKに社長金成泰三氏に感謝状を贈し呈續いて縣議赤津庄兵衛、町長、議長、教育長、觀光協會長の開館の祝辞が述べられた後祝宴に入り盛会裡に開館した

讀者登壇

大井川聲明に一言

花畑　運四郎生

大井川縣議の聲明書を讀んで誰しも解釋に苦しまない者はないと思う、これに対して色々批判らしいものが掲載されているがどれもこれも大分遠慮した書き方をしている私は率直に批判してみたいと思う

先づ私は來るべき市長選擧に立花氏、志賀氏のどちらにも組するものではないが、此の聲明書なるものを讀むとどうしても默つていられない一人である

内容の第一は磐城市の重要性を說き、次に大人物を必要とする、そして前回町長選擧は對立と感情の泥試合であつたとし、市の発展上全市民が憂いているとなし、この意味に於て對立選擧を排し、渾然一体との姿において對處すべく努力したと云う、その努力とは何かと云うと彼は志賀氏の處え行つて俺も出ないから君も出ないで立花氏に譲つてはしいと提言した（之れは選擧の暗取引をやつて来たのである）

志賀氏は周圍の事情から出馬斷念しないと回答されたので斷乎明朗市政確立のため大義名分を明らかにする決意を固めたと云う譯のわからない話である

大井川県議の言う大義明分とは何か？、志賀氏を斷念させて立花氏を無競走で市長にする事が大義名分かのか、又それが明朗市政の確立なのか？、大分ピントが狂つている様である

選擧はデモクラシー政体に於ける國民に与へられた權利義務である

自己の信念に基いて立候補するのは自由な筈であるまして常磐市の住人があれこれと譯のわからぬ事も付け加えておこう

どうかと思う

選擧に対立はつきものである、一番よりも二者、二者より三者と対立あつてこそ我々は最も良い人を選ぶ事が出來るのだ。一方を抹消して一方を立てる様な選擧の暗取引きを排して大井川縣議も改進黨總裁として出馬してはどうか

要はピントの狂つた聲明書を出すより、默つていた方が偉らソウに見える事も付け加えておこう

大義名分を振り廻す事は

印刷御用命ハ 電219

純毛服地と洋服注文専門店
紳士服　婦人服
最新なスタイルと良心的な仕立
きつと皆様のお氣に召す
チケット御利用下さい
大井洋服店
福島縣小名浜町T630　茨城縣太田町T53

ゴム靴なら……
小島へ

産婦人科
小名浜横町　電一二二
久保田
院長　久保田　眞
副院長　久保田眞一
助産婦　久保田イネ

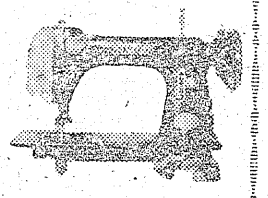
平マーケットサービス券
50圓（本券切取ってでも御利用下さい）
現金300圓以上御買上に50圓として通用
皆様の店　平マーケット　電297

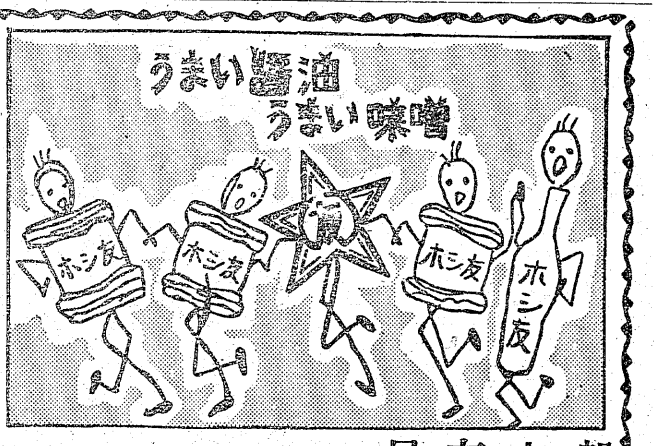
萩原式ロケット高速度手編器
☆市制施行記念奉仕セール☆
……シンガー・ブラザー・トヨダ……
……パイン・オリエント・セイコーシャ……
現金14,000円ヨリ各種　中古5,500円ヨリ6,500円マデ
シンガーミシン福島県販賣店
石川ミシン商會小名濱支店
磐城市小名浜町30　古港電話466番
浜通り代理店　チケット歓迎

立本2書洋邦
11日―13日
鞍馬天狗
薩摩の密使
嵐寛十郎主演
米國映畫界窓前のスペクタル
ベンガルの槍騎兵
ゲリークーパ主演
小名浜キンピ館
毎日上映

植字工急募！
経験者　―委細面談―
磐城市渚廻五一ノ二
長瀬印刷株式会社

チケット歓迎
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二七
皆様の店
雨もまた樂し旅行に通勤に
絹レインコート一四〇〇円
雨靴五〇〇圓より各種荷揃
洋傘にビニール張り登山帽
旅行シーズン
リックサック130円より
學帽120円より600圓
学生服セーラー服各種入荷
ギヤバ・ナイロン学生服揃
ボストン旅行セット新入荷
運動靴ゾーリ袋洋傘鞄当鞄
春セーター婦人子供新入荷
婦人雨靴レインコート荷揃
ワイシヤツ新柄ネクタイ揃
化粧品柳屋メヌマジユジユ・ウテナ　80円
カネボウ春毛糸1900円
ちどりフトン綿
經費をかけずに良い品を

バンコレクション
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます

チケット御利用下さい
小名浜町　西町
電話七九〇番
大和田ミシン商會



ホシ友醤油株式會社　社長　星友太郎

第1095号　昭和29年(1954)4月13日　(火曜日)　日日城磐

一九五四年　お花見總まくり

平年より十日も早く咲いたと云う今年のお花見は平の松ケ岡、湯本の觀音山、小名浜の富ガ浦公園、植田は八幡神社、勿來は関跡と夫々櫻名所に意匠をこらしての商店、料飲店の宣傳合戰が展開されたが經濟の不況か、花見の興が薄らいだか、何處も同じく笛吹けどの歡をかこつている

花は咲いたが　不景氣風で

きようの雨に散り果てる

○○……花よりダンゴ、當世はダンゴより酒とあつて男女同權は花見風景にも見られ、お女中衆のアラレもない姿がカメラマニアを喜ばしたのもつかの間の夢

○○……十一日のおぼろ月に最後のなごりを止めた櫻も夜來の風雨に一金二百五十円也の灯提四百三十灯と共に散り果ててお花見第一巻の終り

○○……連日警戒に当つた地區警員、消防團員も雨の中を散り行く花に「お花見御苦勞さん」と云いたげ、一週間の人出は「一万無いでしょう」とのこと

今年は普通より一寸出た程度、公園の茶店も小供の小使銭が轉げた位とあつてお氣の毒

一般商店に至つては御利益なしと云うところ僅かに料理屋藝者さんが忙がしそうに飛びまわつた程度であるが公園内の某料亭の女將が「困りましたよ」と二階の三味の音を見あげたあたり、まんざら稅務吏員と見まちがつた顔ではない

富ガ浦公園

○○……合併問題に町の全力が傾注されたため準備は萬事たち遲れの觀、加えて十日も早く咲き始めたためアワ食つたのは灯提屋、消防團が總出で花見灯提の注文取りやら飾りつけやらと完了したのが滿開の七日とあつて花見の興はアベックを誘うのみ、一般には興さめの態、町内七カ所の道路横斷灯提と共に全公園に滿艦飾を誇つたがサッパリ

○○……例年なら六間の大通りを寄せと返えせの人波であふれた夕暮れも

「アポロ」と八月公演

小名劇研、「葉櫻」と改稱

小名浜演劇研究會では十一日午後七時から中央公民館日本間に總会を開き磐城市發展に伴い名稱変更、役員改選、二十九年度のプロデュースなどを協議した結果、名稱を磐城市演劇研究会「葉櫻」と改稱、また前会長岡亮八郎氏は顧問に就任して新役員は次の通り決定された

▽会長、ひいらぎ・のぶお

▽總務、作山イク、杉本太助

▽企画、志賀フミ、深谷清三

▽會計、大浦廣江、小松丘養

ついで二十九年度プロデユースとしては六月中旬日大藝術學部「アポロ」会と共同公演會を開く他八月に小學校綠園学校の巡回人形劇、十一月文化祭発表会、同縣コンクール出演などが決定され、市制施行に伴い、泉、江名方面への進出更に農村演劇の振興など磐城市化の發展向上に同会の活躍が大きく期待されている

縣漁協職員大会

ベースアップなどを强張

縣漁業協同組合職員会（会長高本等氏）の第二回大会（定時總会）は、十一日正午より磐城市小名浜漁業協組講堂に於て來賓多數を迎え職員約一二〇名が參集して開かれ会長挨拶、來賓祝辭があり續いて議長選任に移り中之作機船底曳漁協組參事の金成繁夫氏が議長に異議なく可決し、次いで次の議事が協議された

一、昭和二十八年度決算承認の件

二、事業報告の件

三、昭和二十九年度事業計画並予算の件

四、經費賦課の件

五、職員の就業体制確立について

イ、貯蓄一億圓成について

ロ、職員退職共濟方法

ハ、組合の組織强化確立について

などを協議し、特に水產事務職員の給料ベースアップ（一四、二〇〇圓）を强く主張し、給料問題の善處法を約して、最後に職員間の融和親睦をはかることを誓う、の宣言をし、盛会裡に散會した

風雨特報出る

昨日の春日和にうつて變り今朝からかなり降り續く雨について小名浜測候所では十一日風雨注意報を發表すると共に雨の原因を次のように語つた

それによると南方洋上に發生した低氣壓前線が九州北部に發展しはじめ、中心風速十二、三米を帶び東北東に進行、午後二時現在九州南部にのびている季節風による影響で一層心配はなく、雨は今晩中降り続き風も强くなるが明日からは天氣が恢ふくするでしょう

天氣豫報 13

（本日）東よりの風、始めは雨が降るが後にはすつかり雨が止むでせう

（海上）見通しも悪く、時化ますから漁船は注意を要する

魚菜市況 12

（小名浜中央青果市場）

卵九～一〇　五〇ねぎ三〇～七五ごぼう九〇～一五〇人じん三〇～六〇馬鈴しよ三〇～九〇さつま五〇さといも三〇～四五大根五～三〇ほうれん草二六～九〇にら一束四～九きりいも六〇～一八〇たけのこ一八〇ふき一束七～一九しいたけ九〇〇うど一八〇～二〇〇

女中さん急募

小名浜駅前

壽し　金時

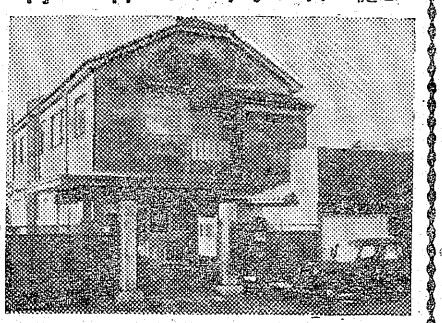
蒲焼

電話一二八

外務社員

男女年令不問希望者は履歴書持参の事

本社業務部



院長　石井醫院

町本二七　町浜四　名小　話電

院意入隨　科病性科　科ゲンレトン科　外内

急募

そば屋見習　若干名　委細面談

本年度新制中学卒業の者

誰も言う　そばは長寿の良い主食

一日一回そば、うどん

福島屋

磐城市横町　電話一二三番

佐藤醫院

醫師　佐藤信好

磐城市大字泉　電話三二番

三森醫院

眼科　小兒科

内科　産婦人科　▲妊産婦預ります

小名濱郵便局前電話七九八番

醫師　三森光三

助産婦　三森晴江

草野医院

院長　草野道平

一般外科

内科

性病科

肛門科

放射線科

（入院隨意）

成田山と厄年

便利な宗教株式會社

春海太郎

〃厄年〃と云う面白い慣習について最近非常に興味深かく感ぜられた

男女とも十三才、それから男は二十五と四十二、女は十九と三十三とか云うこれは恐らく古人の長い生活体驗から生れたものであろうが實に人生のキビに觸れている

十三は共に思春期に入る前、次の十九と二十五は青年期に、三十三、四十二は成年期とでも云うかとにかく人間が生理的にも社会的にも一つの轉機に当る年代である

まあ、それは兎にかく、十三の厄落しは村松の虛空藏さん、二十五の厄落しは成田山不動尊と相場が定つているとか、私も今年は奇しくもこの厄年に当るとかで友達四人相語らい、成田不動尊に遊拜に出かけた

別に信仰心とか何とではなく物見遊山の類いであるから成田山も迷惑を感じたであろう

夕刻七時成田の町に入り駅前のタクシーに飛び込んで「何處かへ連れて行け」と命じた、若僧でもお客さまである、金の偉力とでも云うか

何も云わずに成田山大門前の旅館に横づけにしてくれた、西も東も知らぬ土地はこれに限ると「坊ちやん」に教えられていたので實驗した迄、實に效めがある

仰々しいまでの旦那、女中の總出迎いにいささか懷中におぢけついた

注文取りである

値段を聞くと百圓、二百圓、五百圓、千圓、二千圓が公定でそれ以上は無限なそうな

百圓のゴマと一万円のゴマと御利益に如何程の差があるのか？、番頭君もわからぬそうな

「氣持の問題でケしような」

宗教とは、と云うよりも成田山とは斯くの如き處と思い入つた次第